

令和7年度

事業計画書

特定非営利活動法人 たしざん

1 事業実施の方針

令和7年度は、6月に統合再編する「たしざん福祉作業所 大泉学園駅前（就労継続支援B型）」、「たしざん生活実習所（生活介護）」に加え、4つのGHユニット「たしざんグループホーム（共同生活援助）」に成人・子どもの「たしざん相談支援ステーション（特定相談支援/障害児相談支援）」を主な活動の柱とする。

今年度は、「たしざん福祉作業所 大泉学園駅前」の工賃を東京都平均の23,534円に到達できるよう主に以下の2つの取り組みを行う。1）福祉作業所に併設しているカフェを充実させる。2）6年目のノウフクたしざんは、7月に賃借予定の新座市の畑でも無農薬栽培を行い、農作面積を増やし、収穫高をあげる。農業研修に若手職員を派遣することで、ソフト面でも一層充実させる。

練馬区から受託した「街角ケアカフェ」は、地域の高齢者と引き続き交流出来るように、「折り紙教室」と全員参加型の音楽会の維持を定着させていく。

共同生活援助は、昨年の第三者評価で指摘された入居者の自立を目指す取り組みとして、初のサテライト型GHを開設し、GHは終の棲家ではない事を実証していく。

特定相談支援事業は、現在引き受けている成人・子どもの利用者が安定して福祉サービスを受けられるように援助していく。

令和7年度は、令和6年から手掛けている各事業所の基盤の再編・統合などを経て、運営・経営が安定していくように事業運営をしていく。今後の法人の継続発展を見据え、福利厚生の一環として、理事長による勉強会を若手職員の知識・技術面における育成をサポートする為、引き続き行う。

本部機能は、会計・労務分野のより一層の透明度のアップに取り組み、法人の経営面を裏で支えていく。

法人のモットーである「障がいをもつ利用者、会員、賛同者、野菜応援団などが前年度より少しずつ増え、利用者の出来る事が一つ一つ増えるように関わって下さる方が一人ひとり増えるよう」に法人努力を重ねていく。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【139,940】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費（千円）
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	たしざん福祉作業所大泉学園駅前 就労支援事業 パンや野菜の販売、カフェ	週5日	練馬区東大泉	20人	練馬区住人障害者	3,000人	40,000
	たしざん生活実習所生活介護事業	週5日	練馬区東大泉	20人	練馬区住人障害者	20人	40,000
	たしざんグループホーム共同生活援助事業	週7日	練馬区貫井・桜台・栄町・東大泉	23人	練馬区住人障害者	23人	57,500
就農を支援する事業	たしざん福祉作業所大泉学園駅前無農薬野菜栽培	週5日	練馬区西大泉新座市	10人	練馬区住人障害者	600人	2,000
障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業	特定相談支援事業運営	週2日	練馬区東大泉	1人	障害者で相談支援を受けるもの及びその家族	12人	240
児童福祉法に基づく障害児相談支援事業	障害児相談支援事業開始	随時	練馬区東大泉	1人	障害児で相談支援を受けるもの及びその家族	10人	200

（2）その他の事業

（事業費の総費用【0】千円）

令和7年度 活動予算書（その他事業がない場合）

特定非営利活動法人たしざん

（単位：円）

科 目		金 額	小計・合計
【A】 経 常 収 益			
1 受取会費			51,000
正会員受取会費	46,000		
賛助会員受取会費	0		
受取入会金	6,000		
2 受取寄附金			0
受取寄附金	0		
施設等受入評価益	0		
3 受取助成金等			155,000,000
受取補助金	18,000,000		
受取助成金	500,000		
訓練等給付費収入	120,000,000		
利用者負担金収入	12,000,000		
特定費用収入	4,000,000		
計画相談支援給付費収入	500,000		
4 事業収益			6,000,000
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業	5,400,000		
就農を支援する事業	600,000		
5 その他の収益			0
	0		
経 常 収 益 計			161,051,000
【B】 経 常 費 用			
1 事業費			
(1) 人件費			71,500,000
給料手当	60,000,000		
賞与	5,000,000		
法定福利費	6,500,000		
通勤費	1,000,000		
(2) その他経費			68,440,000
旅費交通費	1,000,000		
通信運搬費	1,000,000		
消耗品費	1,500,000		
減価償却費	4,000,000		
修繕費	2,200,000		
水道光熱費	4,000,000		
地代家賃	35,000,000		
材料費	16,000,000		
商品仕入	800,000		
支払手数料	140,000		
車両費	1,000,000		
保険料	300,000		
雑費	1,500,000		
事業費計			139,940,000
2 管理費			
(1) 人件費			0
役員報酬	0		
給料手当	0		
退職給付費用	0		
福利厚生費	0		
(2) その他経費			2,500,000
通信運搬費	300,000		
消耗品費	200,000		
修繕費	500,000		
リース料	300,000		
支払手数料	350,000		
水道光熱費	150,000		
広告宣伝費	500,000		
雑費	200,000		
管理費計			2,500,000
経 常 費 用 計			142,440,000
当期経常増減額【A】－【B】・・・①			18,611,000
【C】 経 常 外 収 益			
受取利息	60		
受取配当金	1,500		
雑収入	50,000		
経 常 外 収 益 計			51,560
【D】 経 常 外 費 用			
支払利息	30,000		
雑損失	20,000		
経 常 外 費 用 計			50,000
当期経常外増減額【C】－【D】・・・②			1,560
税引前当期正味財産増減額①+②・・・③			18,612,560
法人税、住民税及び事業税・・・④			
前期繰越正味財産額・・・⑤	45,976,168		
次期繰越正味財産額③－④+⑤			64,588,728